

令和元年度 圏域別看護関係者連絡会議を開催しました

目的： 各圏域の看護関係者が、看護職
確保・定着のための情報交換を
行い、相互の連携強化を図る。

開催日： 雲南圏域：7月 9日(火)
大田圏域：7月23日(火)
出雲圏域：8月20日(火)

参加者： 島根県・圏域の保健所・市町保健
福祉課担当・ハローワーク・病院
看護管理者・看護師等学校養成所
看護協会長・ナースセンター
移動ナースバンク看護就業相談員

【島根県医療政策課】

- 県内の看護職員数
看護職員はH28年度比 +300人の12,536人
であるが、必要数・現員数は地域偏在があ
る
- 看護職員需要増の主な要因
 - ・産休育取所得者の増加への対応
 - ・夜勤困難者の増加による夜勤人員の確保
 - ・時短勤務など多様な勤務形態導入による
就労環境改善 などが考えられる
- 看護職員確保のための4つの柱
 - ①県内進学促進②県内修学促進
 - ③離職防止・再就業促進④資質の向上

【島根県ナースセンター】

- eナースセンター求人・求職登録、看護
職離職時の届出制度の登録状況の報告と
登録依頼
- 移動ナースバンク(7か所)来所者の内訳、
圏域の来所者の状況、就職先等の報告
- ナースセンター(看護協会内)来所者の内訳、
就職先等の情報提供



【参加施設・行政・関係団体の情報交換】

- ハローワーク
 - ・各圏域の求人、求職者の状況について
- 市町
 - ・地域枠での奨学金制度による就業促進
 - ・中高生へのふるさと教育の実施や、地域
実習の受け入れにより就業に繋がった
- 病院・学校・保健所
 - ・圏域の新人看護師が集まり新人教育を実
施⇒新人看護師の仲間作りと、教育担当
者の成長につながっている(雲南圏域)
 - ・通信制2年過程に入学し、看護師を目指
す准看護師が増えている(大田圏域)
 - ・勤務間インターバルを確保し正循環の
交替制勤務シフトづくりに努めている
(出雲圏域)
 - ・働きやすい職場づくり(業務改善・意識
改革・在宅医療の推進)で“選ばれる病院”
を目指している(出雲圏域)
 - ・教育機関では、県内就業を推進し、地域
貢献、自立できる学生の育成に努めてい
る(出雲圏域)